

科目区分	専門教育科目	授業科目名	スピーチコミュニケーション				科目コード	26L114	担当者	高柳 篤江			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件					
授業形態	講義	履修条件						教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分						
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	元テレビ長崎、フリーアナウンサー、話し方教室講師の勤務経験あり。これらの経験をもとに、人前で話すことによって自信をつけ、また人間関係をスムーズに築く能力を養うための指導を行う												

授業の主題	自分の考えを正確に伝え、相手の考えを理解することにより、社会生活や人間関係の支えとなるコミュニケーション能力を高める。	課題等への対応(フィードバックの方法等)	スピーチ実技について毎回口頭でアドバイスをする。レポートは毎回評価する。
授業の方法	テーマに沿って「準備する」「話す」、他の学生の発表を「聞き」「評価し合う」。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	「スピーチコミュニケーション」の概要、自己紹介、第一印象の決め手	各授業で実践してみる。	第9回	聞く力をつける	日常の会話で実践してみる。
第2回	好印象を得るには	普段の生活の中で、自分を客観的にみてる。	第10回	スピーチの組み立て①	日常の会話で実践してみる。
第3回	お辞儀、あいさつ	普段の生活の中で、周りをみてる。	第11回	スピーチの組み立て②	単語を大事に、日常会話に生かしてみる。
第4回	スピーチの組み立て 基本形①	自分がどのタイプか考えてみる。	第12回	集団討論	討論のポイントを復習する。
第5回	スピーチの組み立て 基本形②	日常生活で試してみる。	第13回	とっさのスピーチ	どのような場面で生かせるか試してみる。
第6回	わかりやすい伝え方 アサーティブ①	自分がどのタイプか考えてみる。改善点を探す。	第14回	プレゼンテーション 話法のまとめ	ポイントを自分のものにするよう練習する。
第7回	わかりやすい伝え方 アサーティブ②	自分がどのタイプか考えてみる。実践してみる。	第15回	プレゼンテーション 実践	仕上げにむけ練習する。
第8回	わかりやすい伝え方 アサーティブ③	自分の変化を探す。			事前・事後学修時間(分/授業1回) 180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	授業中に適宜紙媒体で資料を配布する。	受講生へのメッセージ	「言葉」は気持ちを届けます。「声」は人柄を表します。人前でのスピーチに慣れてくると「話し方」が変わり、あなたの印象も変わります。練習を重ねて、自信ある伝え方を身につけましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

